

⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

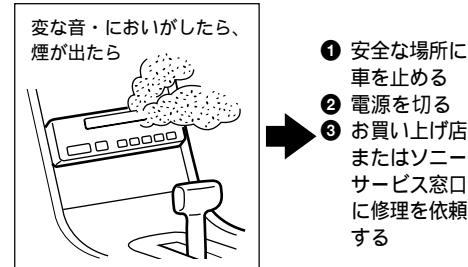
定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていなかいか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

警告表示の意味

取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

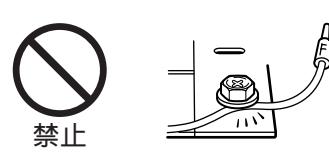
本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないよう取り付ける

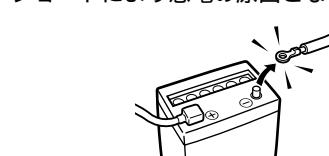
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

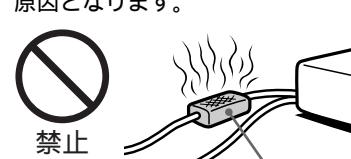
火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



けがをしたり

自動車に損害を与えたことがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところなどに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

SONY®

デジタルプリアンプ

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。また、本機の調整には専用の調整機器が必要です。取り付け及び調整は、お買い上げになった販売店にご相談ください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XDP-4000X

Sony Corporation © 1999 Printed in Japan

取り付け/接続部品(付属)

①



取り付けビス×4

②



バスケーブル 2m

③



端子台カバー

主な特長

- 位相歪のないFIR Digital Filterによる4/3/2 Way構成可能なデジタルクロスオーバーネットワーク。
- クロスオーバーネットワークのレベルは各出力(スピーカー)ごとに0.5dB単位で設定可能。
- 各スピーカー間での距離を補正するタイムアライメントは1cm stepで設定可能。
- LR独立10バンドパラメトリックイコライザー。
- クロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーとも、10個のプリセットが可能。

パラメトリックイコライザー部

- バンド数：10バンド左右独立(Lch:10バンド+Rch:10バンド)
- 選択可能な中心周波数：18Hz～21.7kHz(1/18oct刻み)
- レベル調整範囲：±12dB
- Q値：0.1～25.5 0.1step
- プリセット数：10

クロスオーバーネットワーク部

- 出力レベルの調整：各出力ごとに0.5dB単位で設定可能。
- 各出力のカットオフ周波数、スロープを独立に設定可能。
- 0～25m・1cm stepで調整可能なタイムアライメント機能(設定はクロスオーバーネットワークのプリセットに含みます。)
- プリセット数：10

主な仕様

電源

DC12Vカーバッテリー(マイナスアース)

消費電流

1A 5Hz～20kHz

SN比

105dB(B(JIS-A))

高調波ひずみ率

0.003%

入出力端子

バスコントロール入力端子×1

バスコントロール出力端子×1

オーディオ入力端子×2

オーディオ出力端子×4

光デジタル入力端子×2

249×45×183mm(幅×高さ×奥行き)

約2kg

取付けビス(4)

バスケーブル(2m)×1

端子台カバー(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

保証書(1)

別売りアクセサリー

バスケーブル(RCAピンコード付属)

RC-61(1m) RC-62(2m)

RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m)

RC-65(5m)

光ケーブル RC-98(5m) RC-97(2m)

別売り品 マスターユニット(DSPコントロール対応)

CDX-C90、CDX-C7200、MDX-C8200など

CDチェンジャー(アナログ出力)

CDX-727など

CDチェンジャー(デジタル出力)

CDX-828など

MDチェンジャー MDX-65など

XA-C30など

TVチューナー XTL-77Vなど

パワーアンプ XMシリーズ各種

スピーカー XSシリーズ各種

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111



* 1 - 3 - 8 6 4 - 8 5 4 - 0 1 * (1)

操作

使用上のご注意

- 本機をご使用になる為には、ソニー製 DSPコントロール機能付きマスターユニットが必要です。
- 安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- マスターユニットのラウドネス機能はご使用になれません。
- マスターユニットのバス/トレブル、バランス/フェーダー機能はご使用になれません。

はじめに

本機は、ソニーバスシステム対応のデジタルブリアンプです。
クロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーが各10個のプリセットに登録できます。お客様の車内状況に合わせて最適な設定をしてお使いください。尚、各プリセットの調整はお買い上げの販売店にご相談ください。

登録されているメモリー(プリセットメモリー)を選ぶ

—イコライザーカープ(PEQ)
プリセットにイコライザーカープが10個(MEMORY 1からMEMORY 10)登録されています。

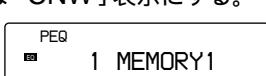
—クロスオーバーネットワーク(CNW)
プリセットにカットオフ周波数が10個(MEMORY 1からMEMORY 10)登録されています。

ちょっと一言

メモリーの登録内容を変えたい場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。

1 ソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。

2 **(SOUND)**ボタンを押して「PEQ」または「CNW」表示にする。



3 ダイヤルで、登録されているメモリー(プリセットメモリー)(MEMORY 1からMEMORY 10)を選ぶ。

3秒後、通常のモードに戻ります。

- ボイスガイド付きマスターユニットのボイスガイド機能はご使用になれません。
- 本機のATT(MUTE)動作はマスターユニット単体での動作と異なり、ATT(MUTE)ONの状態でボリューム調整機能は動作しませんが故障ではありません。また、ボリューム操作によってATT(MUTE)の解除はされません。

まずリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、マスターユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押してください。

ソースごとに音響効果を記憶する

—ソースサウンドメモリー
本機は自動的に各ソース(CD、MD、テープ、FM、AM、テレビ)ごとに設定したイコライザーカープを記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音場で再生することができます。

ちょっと一言

TVチューナーとTVモニターを接続した場合、TVモニターには「LSM」(ラストサウンドメモリー)と表示されることがあります。

CD/MDごとに音響効果を登録する

—ディスクサウンドメモリー
ディスクごとにイコライザーカープを設定して登録することができます。ディスクごとにいつでも同じ設定で聞くことができます。

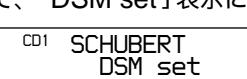
この機能が使えるのは、プログラム演奏対応のCD/MDチェンジャーで再生しているディスクのみです。

1 設定したいディスク(CDまたはMD)を再生する。

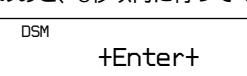
2 イコライザーカープを選ぶ。

3 **(SHIFT)**ボタンを押す。

4 数字ボタン⑨(PLAY MODE)を押して、「DSM set」表示にする。



5 数字ボタン⑥(ENTER)を押す。
手順4のあと、5秒以内に行ってください。



登録したディスクサウンドメモリーを消すには

上記の設定手順5で、数字ボタン⑥(ENTER)を2秒押します。



取り付け

ご注意

設置上のご注意

- 本機のクロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーを調整するためには専用の調整機器が必要です。取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機は12ボルトマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車では使えません。
- 次のような場所への取り付けはお避けください。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - 雨が吹き込んだり、水がかかったりする場所や湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
- 運転の妨げにならない場所で、同乗者に危険がおよばないところを選んで取り付けてください。
- シートの下またはトランクルームに取り付けてください。

電源について

本機の電源コードはパワーアンプ等とは別にバッテリーから直接配線してください。

ヒューズについて

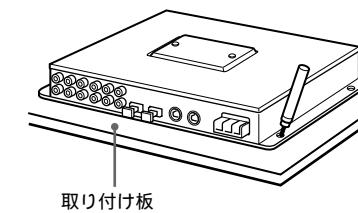
- バッテリーのなるべく近くに必ず5Aのヒューズを入れてください。ヒューズを使用せずに誤った接続をすると、機器が誤動作したり、ケーブルが焼損する可能性があります。
- ヒューズが切れた場合は、電源コードとアースコードの接続を再確認してからヒューズを交換してください。交換したあともすぐ切れる場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

取り付け

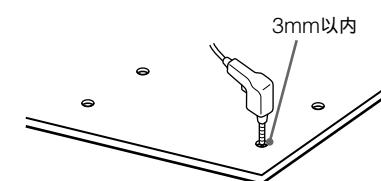
ビスで固定する

十分な厚み(14mm以上)の取り付け板をご用意ください。

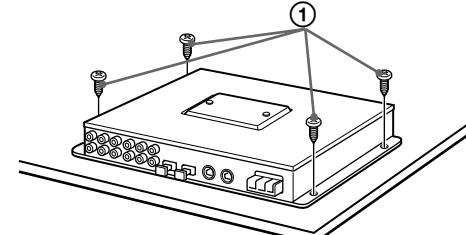
1 本機を取り付け板に置き、ネジを取り付ける位置に印をつける。



2 印の位置にドリルで3mm以内の穴を開ける。



3 ネジ①で止め、固定する。



故障かな?

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量設定が「0」または最小になっている。 → 音量を上げてください。マスターユニットの電源を入れるとPOWERインジケーターが点灯する。 → アンプとスピーカーとの接続を確認してください。RCAピンコード、光ケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。
POWERインジケーターが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">ヒューズが切れている。 → ヒューズを交換してください。アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。接続しているマスターユニットの電源が入っていない。 → 電源を入れてください。バスケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。
オルタネーターの雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">電源コード、RCAピンコードが近い。 → 電源コードとRCAピンコードを離してください。RCAピンコードが車両ハーネスに近い。 → 離して配線してください。アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。
ボリュームが操作できない。	ATT(MUTE)がONになっている。 → ATT(MUTE)をOFFにしてください。

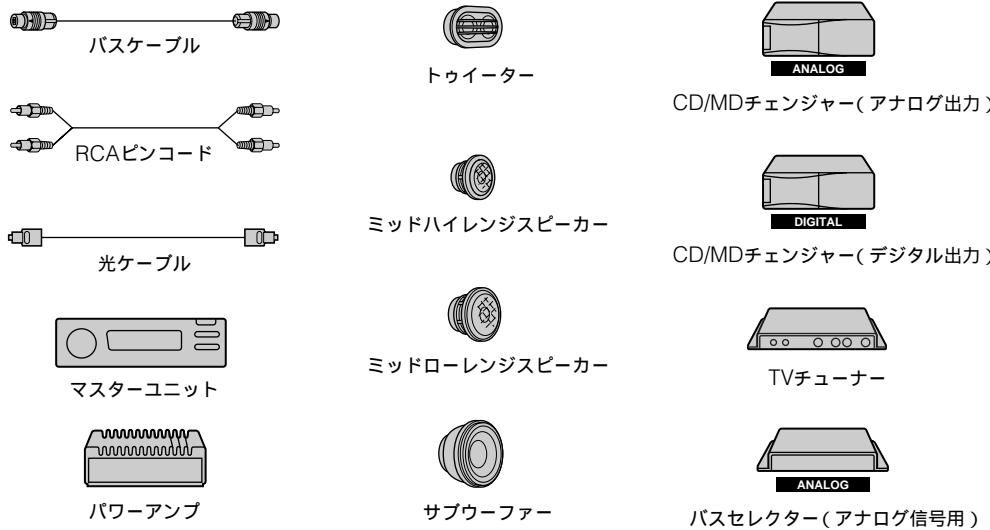
接続

ご注意

- 本機のクロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーを調整するためには専用の調整機器が必要です。接続及び調整はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 作業中のショート事故防止のため、接続をするときはバッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 本機の電源コードはパワー・アンプ等とは別にバッテリーから直接配線してください。
- 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機とXDP-U50DやXDP-U50DMK2、XDP-210EQを接続すると機能が正しく働きません。
- 本機を同時に2台接続することはできません。
- マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチのついている機種ではスイッチを必ず②の位置にしてください。①の位置で使いになると、ボリュームが最大値付近で固定されたままで調節できません。また、LINE OUT/EQ IN切り替えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。

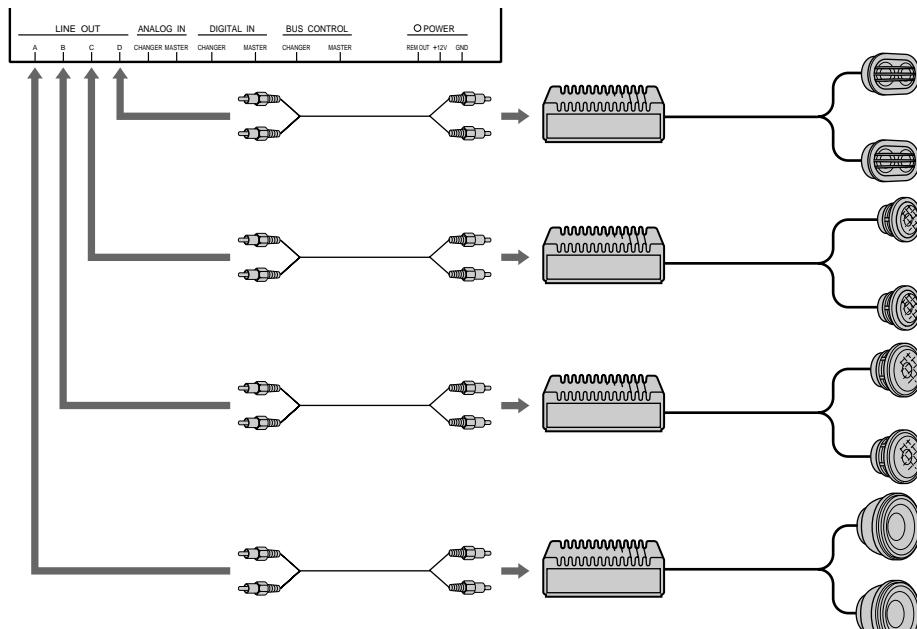
拡張機器	1	2	3	4	5	6	7
ANALOG							
DIGITAL							
ANALOG							

接続例のイラスト表示について(別売り品)



パワーアンプの接続

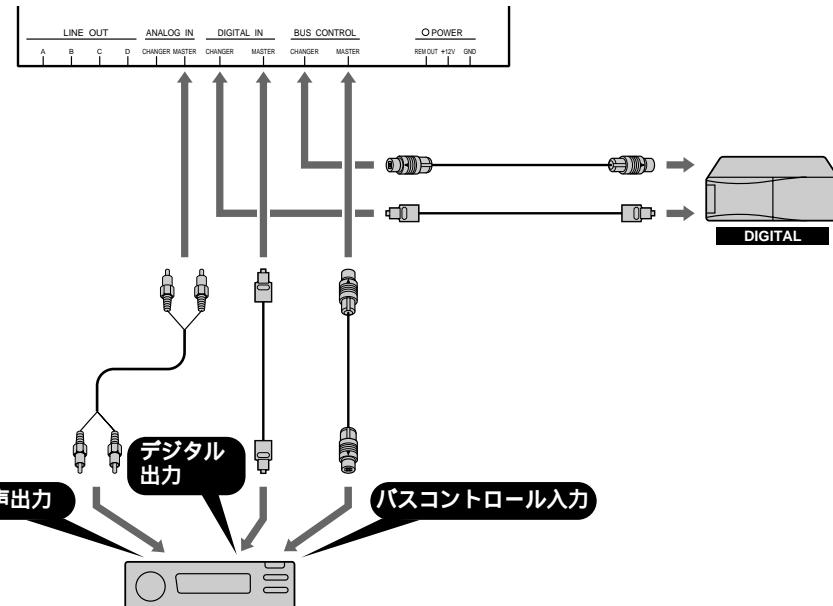
外部アンプを接続する



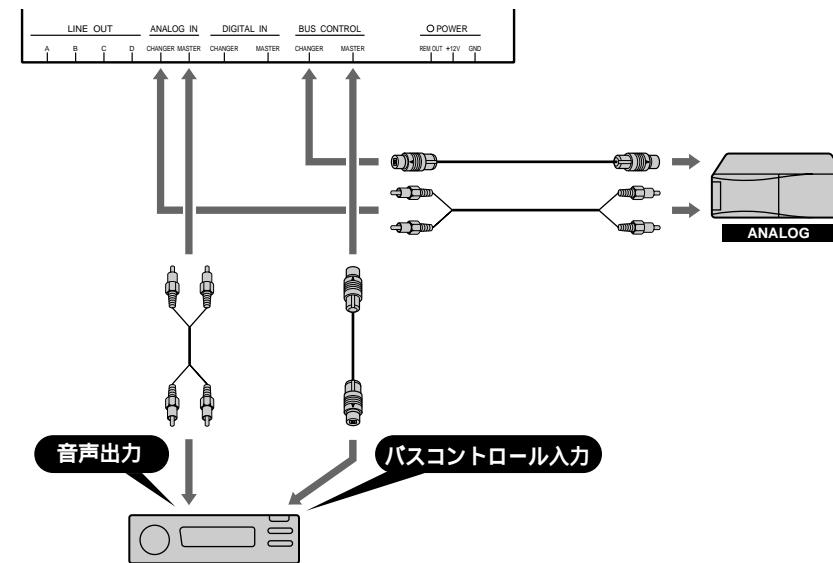
ご注意

マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またアナログ出力のCD/MDチェンジャー、TVチューナー、バスセレクターからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

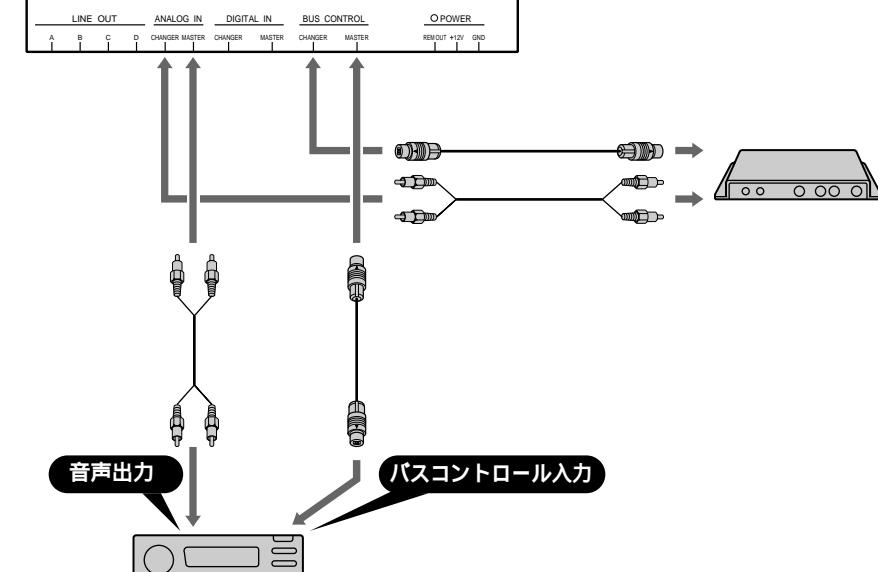
1 デジタル出力のCD/MDチェンジャーと接続する



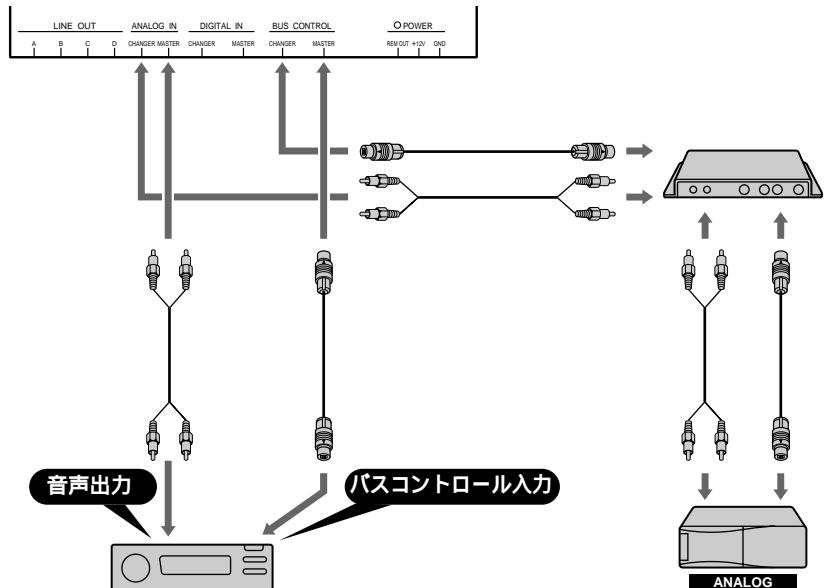
2 アナログ出力のCD/MDチェンジャーと接続する



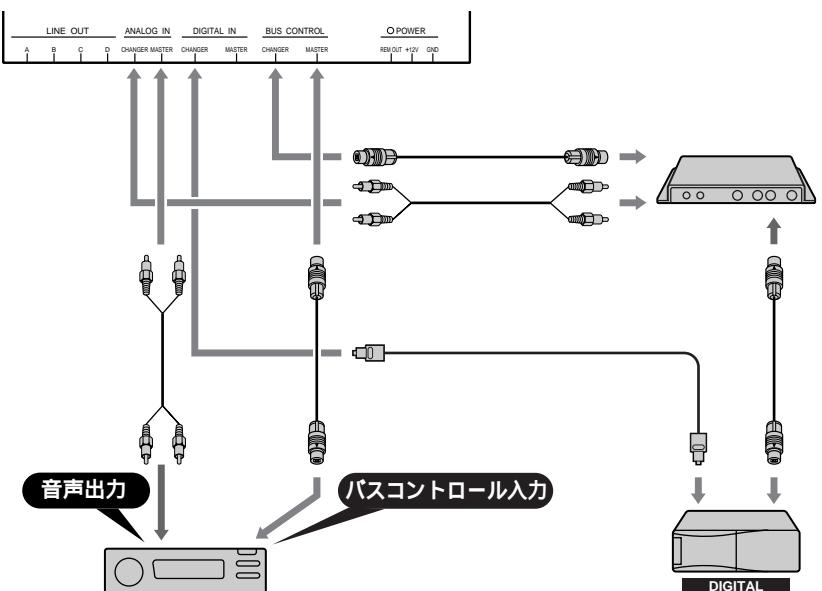
3 TVチューナーと接続する



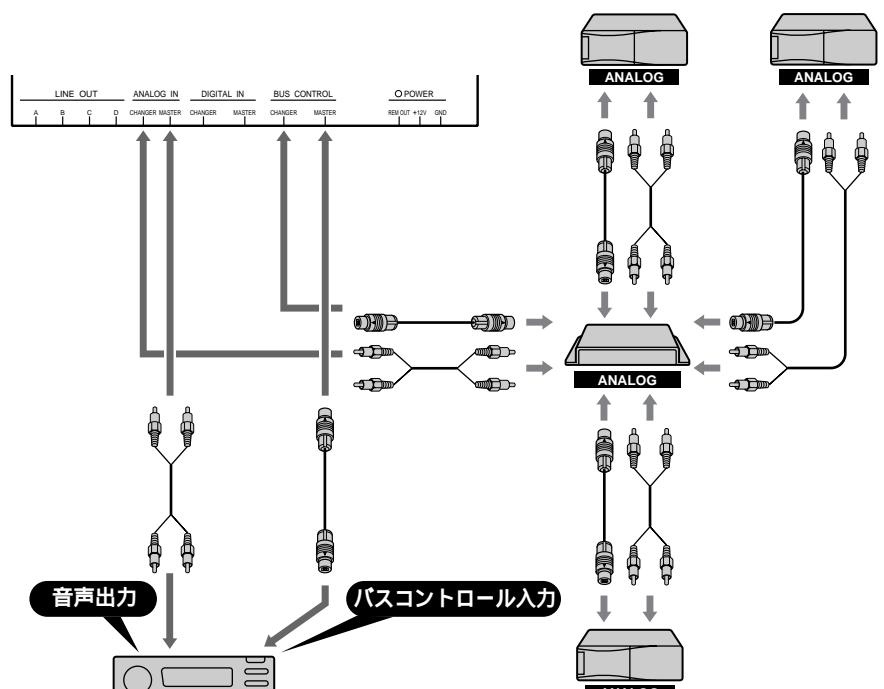
4 TVチューナーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続する



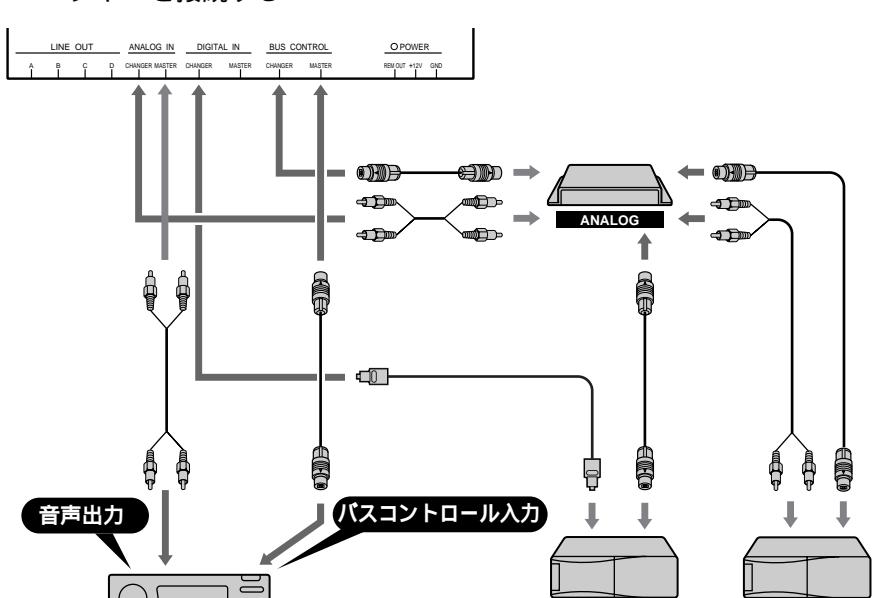
5 TVチューナーとデジタル出力のCD/MDチェンジャーを接続する



6 アナログ出力のCD/MDチェンジャーを2台以上接続する



7 デジタル出力のCD/MDチェンジャーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続する



光ケーブル(別売りのRC-97/98など)を接続する

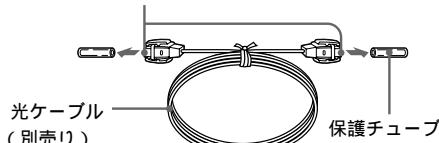
光ケーブルの取り扱いについて

- 光ケーブルを使って接続をする場合は、以下の点にご注意ください。
- 半径5cm以下になるまで曲げないでください。音が途切れことがあります。
- 配線するときはケーブルが周囲の物に押しつぶされたり、締め付けられないようにしてください。
- カプラー部分を傷つけたり、汚したりしないでください。

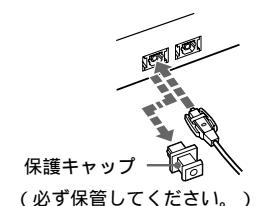
光ケーブルの接続

1 光ケーブルの保護チューブをはずす。

カプラー部分には触れないでください。



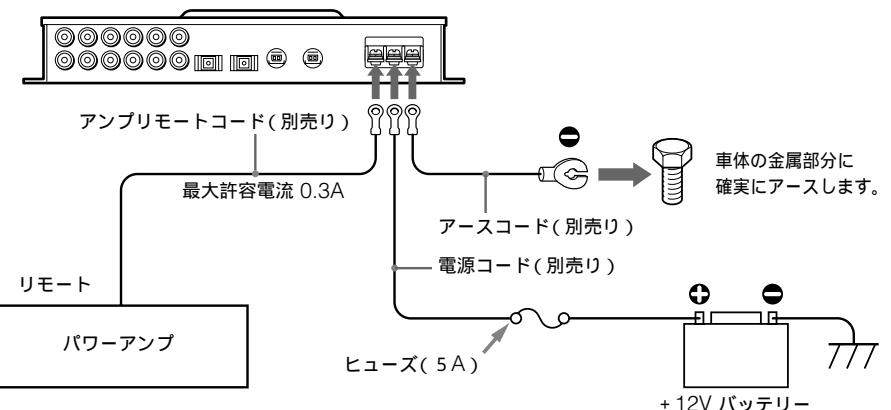
2 保護キャップをはずし、光ケーブルを接続する。



ご注意

- 光ケーブルによっては本機に適合しないこともあります。光ケーブルは必ずソニーカーオーディオ用のRC-97/98などをご使用ください。
- 光ケーブルを接続するときは、コネクター両側のロックを確実に差し込んでください。取りはずすときは、コネクターの両端をはさむようにして軽く持つだけではれます。
- 光ケーブルを接続しないときには、本機に保護キャップを必ず取り付けておいてください。

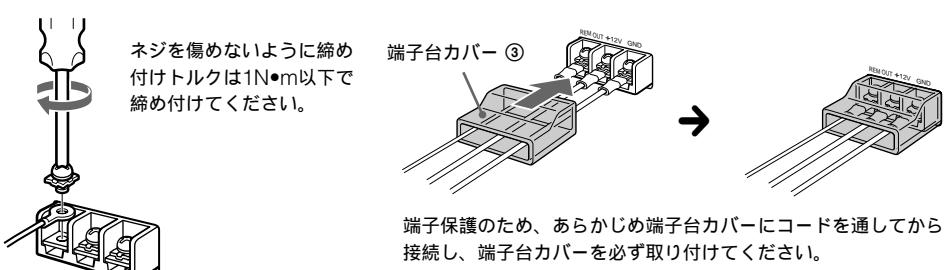
電源コードの接続



ご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 本機の電源コードはパワーアンプとは別にバッテリーから直接配線してください。
- 電源コードは太さ16ゲージ(AWG-16、断面積1.25mm²)以上のコードを使用し、可能な限りバッテリーに近い位置に必ずヒューズ(5A)を配置してください。

コードの接続は下図のようにします



取り付けと接続が終わったら

- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ワインカーなどすべての電装品が正しく動作することを必ず確認してください。
- マスターユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押してください。くわしくはマスターユニットの説明書をご覧ください。
- マスターユニットの電源を入れると本機のPOWERインジケーターが点灯します。

